

海藻押し葉を作ってみよう

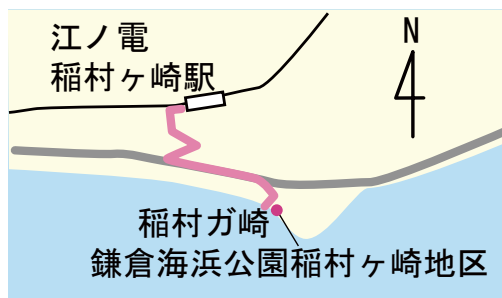
海の中には、さまざまな種類が生えていて、海の森のようになっています。鎌倉の浜辺の多くの場所で、打ち上げられた海藻が見られます。いろいろな色や形の海藻で、「押し葉」の標本を作ってみましょう。



大潮の日の干潮のときは、七里ガ浜から稲村ガ崎にかけての岩礁が海上に現れ、海藻が生える様子も観察できます



台風の後には、打ち上げられた海藻がたくさん



鎌倉海浜公園稲村ガ崎地区は水道があり、真水を使う海藻押し葉作りに適しています。交通は江ノ電稲村ヶ崎駅より徒歩約10分

海藻押し葉の作り方



①海藻を真水で洗い、塩分や砂を落とします



②真水を入れたバットの中で海藻を広げ、台紙となる厚紙ごと水に入れ、海藻を乗せ形を整えます



③そっと水から出して、楊枝などで海藻が重ならないよう広げます



④別途ダンボールの上に新聞を敷いておき、そこへ③を厚紙ごと置き、その上から布・薄紙・新聞紙を重ねます



⑤さらに上からダンボールを置き、重しをして、しばらく置いて乾燥させます



⑥できあがり！



⑦これはしばらく乾燥させたテングサの標本。寒天やとろてんの材料となる海藻です

海藻いろいろ



乾燥させて煮物にされるヒジキ



ワカメ。早春、アコーディオン状の部分は「めかぶ」としてゆでて食べられます



肉厚のミル